

て
手

しよく
燭

たいしょうじだいご
～大正時代頃

ろうそくを^た立てて^も持ち^{はこ}運ぶための^{だい}台。明治^{めいじ}時代^{じだい}に^{つた}伝
わった「^{よう}洋^{ろう}ろうそく」が^{ひろ}広まるまで、ハゼ^きの^み木の^み実か
ら^{つく}作った「^わ和^{ろう}ろうそく」は^{きちょうひん}貴重品^ででした。